

# ICANN80 ccNSO関連報告

第70回ICANN報告会  
2024年7月25日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)  
高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

# 基本情報

- ccNSO（国コードドメイン名支持組織）

- 正式名称：

Country Code Names Supporting Organisation

- ICANNにおける位置づけ

- ICANNの活動を支える支持組織の一つ。
- 約250のccTLDの内、約170のccTLDが参加。
- ccTLDレジストリの連合体としてICANNの他支持組織や諮問委員会などと協調しながら、ccTLD全体にまたがるグローバルな課題についてポリシー案を作成し、ICANN理事会に勧告を行う。

JPRSは、日本を表す「.JP」を運用するccTLDレジストリとしてccNSOに参加。

※JPRSからは遠藤淳、高松百合が参加

# ccNSOに関連する主な会合

6月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・Tech day</li><li>・DNSSEC Workshop</li></ul>
6月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ccNSO Members Meeting Welcome Session, Update and ccTLD News</li><li>・ ccNSO DNS Abuse Standing Committee: Amendments gTLD RA and RAA, what should ccTLDs be aware of?</li></ul>
6月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ccNSO Universal Acceptance Standing Committee: work plan, ccTLD UA readiness, UA Day</li><li>・Policy Update Session</li><li>・ccNSO Internet Governance Liaison Committee: how ccTLDs contribute to a better world (UN Sustainable Development Goals)</li><li>・ccNSO Strategic and Operational Planning Committee: ccTLD relevant aspects in ICANN's Strategic Planning</li></ul>
6月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>・World Café: explore improvements ccNSO Membership voting</li><li>・ccNSO Council</li></ul>

# ①SDGsとccTLDの果たすべき役割

# 概要

- セッションの企画者
  - Internet Governance liaison Committee (IGLC) が企画
- 内容
  - WSIS+20プロセスやGlobal Digital Compactに関連する動きの共有、ccNSOメンバへの啓発
    - 結果として、SDGs(国連で採択された持続可能な開発のための目標)の達成につながることを強調
  - ccTLDそれぞれにおけるSDGs達成を意識した取り組み等(キャパシティビルディング等)の共有
    - ジンバブエ(.zw)、フランス(.fr)、ブラジル(.br)

## ②ccTLDのあり方に関する議論

## ②ccTLDの管理のあり方に関する議論(1/2)

### • 背景

- 2022年に.lb(レバノン)において、IANA Data Baseに登録されている責任者(個人)の死亡により、ccTLD運用者が一時不在となり、Caretaker Operation(世話人による運用)という状態となった
- ccNSO評議委員会内にチームを設置し、以下を前提にccTLDのあり方について検討中
  - 既存のポリシーと実態との間にギャップがある
  - ccNSOは、IANAがルートゾーンの管理においてccTLDとどう関わるかを規定するグローバルなポリシーの策定主体である

## ②ccTLDの管理のあり方に関する議論(2/2)

### • ICANN79での動き

- 2部構成で、ccTLDコミュニティにおけるccTLD管理のあり方に関し、課題意識の醸成を図りながら、意見交換を実施
  - 第1部:こんな時、IANAはどうすべき？何ができる？
    - 大西洋の小さな島の.wi(実在しない)の運用者であるビスタ氏は、2024年10月31日をもって、.wiの運用者を誰かに譲り、自分を管理者から削除してもらいたいとIANAに申し出た
    - ビスタ氏が2024年10月31日より前に突然亡くなってしまった
  - 第2部:ルートゾーンデータベースの情報正確性維持はIANAの仕事？

### • 今後の予定

- 得られた気づきを踏まえ、引き続きccNSO評議委員会のチームにて継続検討

# ICANN80での動き

- 以下の3つのテーマについて意見交換を実施
  1. ccTLD に関する Public Record (Manager/Sponsor Organization や admin/tech contact) が存在する目的
  2. IANA による評価の結果を待たずに、ccTLD 管理者の実質的な変更が発生した場合の対応
  3. IANA が関知せず、ccTLD 管理者の変更が起きた場合の対応
- 今後の予定
  - ccNSO として、評議委員会内に設置した ad-hoc Policy Gap Analysis group を発展させる形で、Policy Gap Analysis Working Group を設置し、本件の検討を推進することが提案された
    - JPRS 遠藤淳がメンバーとして参画

# ③ ccNSOによるccNSOメンバー向け 啓発活動 (World Café)

# 概要(1/2)

- セッションの企画者
  - Guideline Review Committee (GRC) が企画
- 内容
  - 主な目的
    - ccNSOにおける課題や、ccNSOそのものに対する理解促進及び意見交換
    - ccNSOメンバー同士の考え方の理解促進
  - 意見交換のテーマ(一部抜粋)
    - なぜ、過去のccNSOでの投票実績では、メンバーの半数強(=定足数ギリギリ)しか投票に参加しないのか
    - 投票状況の透明性は、どの程度確保すべきか ... など

# 概要(2/2)

## ● 会場の様子



意見交換は  
小グループに分かれて実施



建物外のテントにて実施

## ● 結果

- 活発な意見交換が行われたものの、ccNSOの他セッションに比べ参加者が4分の1程度であった
- 開催場所および周知方法等の見直しを行い、今後も機会を見て開催を検討

